

テキスト抜け、SSのトリミングや貼付位置の甘さがありますがご容赦願います。

FF14 備忘ログ(PATCH2.0) サブクエスト



黒衣森編

南部森林

ギルドリーヴ開放「クォーリーミル」

- ニエル**：仕事を探しているのかな？ 僕はニエル。冒険者ギルドの一員さ。
ここでは、魔物討伐や物資調達といった、「クォーリーミル」周辺から寄せられた依頼を紹介しているんだ。
ただし……危険を伴う内容のものも多いので、本格的に仕事を依頼する前に、君の実力を確かめさせてもらいたい。
僕が取り扱っている依頼をひとつ見せてあげるよ。まずは、このリーヴをこなしてもらえるかい？
ありがとう。そうそう、トレントを十分弱らせてからじゃないと「鎮めの清水」の効果は発揮されないから気をつけてね。
- ニエル**：依頼したリーヴを達成してくれたみたいだね。それじゃあ、報酬を受け取ってくれ。
君の働きぶりは、素晴らしいよ！ これなら、安心して仕事を任せそうだ。
その腕っ節、頼りにしているからね！

遊子たちの巣

- イアンナ**：バスカロンの手伝いをしてる冒険者だね？ よければ、このイアンナにも力を貸しておくれよ。
この近辺に凶暴な魔物が出沒するようになってねえ。ウルダハからの交易商なんかが襲われては、
命からがら、ここへ逃げこんでくるのさ。
あんたには、その魔物…… 「スカード・アンテロープ」を討伐してほしいんだ。
ここを出て南に進めば、見つけられるはずだよ。
奴は他のアンテロープとは段違いの強さだけど、この「ゲド卵スープ」をかけりゃ、さすがに弱るはずさ。
頼んだからね、しっかりおやり。
- イアンナ**：無事、魔物を討伐してくれたようだね。……このバスカロンドラザーズは、
ここに集う冒険者や労働者、商人の家なんだ。
自分らの家を、神勇隊や鬼哭隊みたいな外の者に守ってもらうのは筋が通らない。
家は家の者が守るのが、道理ってもんさ。



森への敬意

- イアンナ**：この酒場は黒衣森に抱かれ、守られてる。だからこそ、ここへ立ち寄るものには、誰であれ、森に敬意を払ってもらうことにしてるんだ。
もちろんあんたにも、その心を理解しておいてほしい。森を守って死んだ「朽ちたトレント」に供えものをして、礼を尽くしておいで。
まずは「アンテロープ・ドゥ」から「アンテロープの臓物」を4体ぶん手に入れるんだ。
それから「ケッドトラップ」から手に入る「妖花の花弁」も2つほど必要だね。
とてもいい香りがするから、トレントも喜んでくれるはずさ。
この2つを揃えて、順に「朽ちたトレント」に供えるんだ。トレントに敬意を表して顔を上げたとき、
きっと、このお願いの意味がわかるだろうさ。
- イアンナ**：ちゃんと供えものをしてきたかい？ ……あの「朽ちたトレント」はね、第七霊災の影響で枯れちゃったトレントのひとつさ。
トレントが枯れちゃったのを知ったとき、「これで森を守ってくれるものはなくなったんだ」って、
あたしらはずいぶん気落ちしたもんだ。
だがね、枯れたトレントの体からは草木が生えた。あのトレントは、そうやって森を生みだして、
枯れちゃった今になっても、森を守ってくれてるんだよ。
そういう優しいものに守られてることを忘れちゃっては、バチが当たるってもんさ。
どうだい、今ならこの言葉の意味がわかるだろう？

酒場の一員

フィリオ：その身のこなし…… そこそ腕の立つ冒険者だな。仕事を探してるんなら、ひとつあるぞ。
東の川の「スモールマウス・オロボン」を3体、駆除してこい。あいつらが川魚を食い荒らすもんだから、
バスカロンの親父が困っているんだ。
仕事をこなしてきたら、お前をこの酒場の一員と認めてやるぜ。

フィリオ：スモールマウス・オロボンを退治してきたか。これで酒場にうまい魚料理が並ぶだろう。
バスカロンの親父は、俺たちみたいなやくざ者にも、分け隔てなく接してくれる。
だから俺あ、親父に迷惑をかけるヤツあ許せねえんだ。
お前は腕もたつし、信頼もできそうだ。是非ここで仕事をこなして、親父の力になってやってくれ。

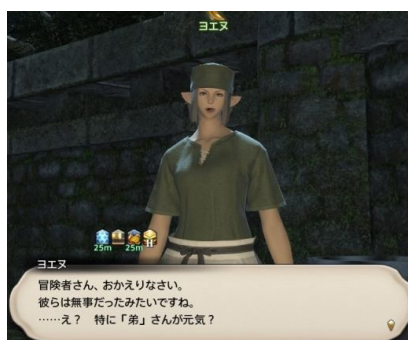


遺跡調査の落とし穴

ヨエヌ：冒険者さん、ひとつお願いできますか？ ここから南の「イソム・ハーの穴蔵」に行って、
遺跡調査をしている方たちの様子を見ててください。
彼らはよく、うちの酒場でご飯を食べて、食料を買い込んでいくのですが…… ここ数日、姿が見えないのです。
調査を仕切っているのは「**イリエル**」さんです。何かあったのか、確認をお願いします。

イリエル：あら、何のご用？ ……ヨエヌが私たちの様子を見てこいて？ 大丈夫、ご覧のとおり、ふたりともびんびんしてるわ。
ただ……遺跡の調査中に、大穴の奥から大量のソワソワ…… チゴーがいっぱいできたのよーっ！！
岩場の奥に5匹くらい隠れたようだよ…… 大量のチゴー、思い出だけでソワソワしちゃう！
ちょっと調べて、倒してくれない！？

イリエル：ありがと、これで調査に集中できるわ。下に見える遺跡が何だかわかる？ これは地下都市「ゲルモラ」の一部よ。
「ゲルモラ」には、シェーダー族の祖先が住んでいたそうよ。私たちは、シェーダーである自分の起源を知るために、
この遺跡を調査しているの。
あなたには世話をかけたわね。酒場に戻って、**ヨエヌ**に伝えてちょうだい。私たち……特に「弟」はとっても元気です、ってね。

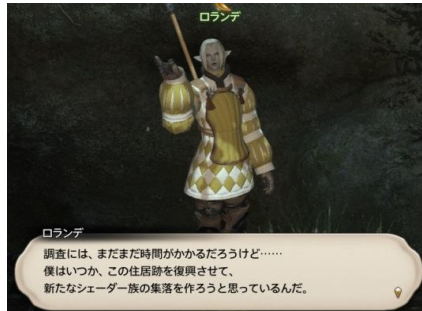


ヨエヌ：冒険者さん、おかえりなさい。彼らは無事だったみたいですわ。……え？ 特に「弟」さんが元気？
べ、別にそんなことは強調しなくてもいいです！ 私は、おふたりとも心配していたんですっ。

土に埋もれた夢

ロランデ：君、遺跡調査を手伝わないかい。このあたりの遺物を収集しているんだけど、範囲が広すぎて、僕ひとりでは手が足りないんだ。僕はこの辺りが、地下都市「ゲルモラ」の住居跡だったと睨んでいる。何か証拠が見つかってくれるといいんだけど……。

ロランデ：どうだい？ 何か証拠になりそうな物は見つかったかな。
ああ、これはゲルモラの食器だよ。この形と装飾……おそらくこれは食事用のカップだね。
ご苦労様、これ以上ない有力な証拠だ。
調査には、まだまだ時間がかかるだろうけど……僕はいつか、この住居跡を復興させて、新たなシェーダー族の集落を作ろうと思っているんだ。
グリダニアの人は僕らを「ならず者」と見ているようだけど、僕らだって、住む場所と仕事がちゃんとあれば盗賊まがいのことをしなくてすむはずさ。



バスカロンの知恵

オフィリオ：冒険者、お前の腕を見込んで頼みがある。「バスカロン監視所跡」のあたりをねぐらにしている、キキルンどもが、毒薬をためこんでいるそうだ。奴らは爪に毒を塗り、殺傷力を高めるといふからな。どうせ、よからぬことを企んでいるに違いない。この「火炎壺」で「毒液の保管箱」を破壊してきてくれまいか。

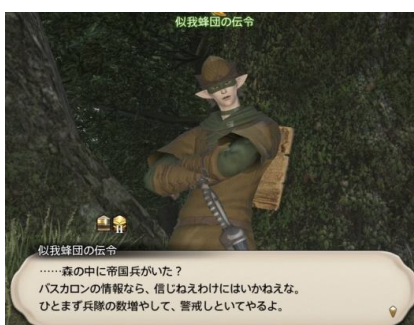
オフィリオ：やってくれたか、ご苦労だったな。直接キキルンどもを締めあげてもよかったんだが、大きな争いは俺たちの望むところじゃない。でかい騒動になる前に手をうつのも、森の安定を保つための知恵というわけだ。……もとは、バスカロンから教わったことだがね。

胡蝶のはばたき

オフィリオ：俺あちとと、盗賊団あがりのゴロツキさ。だが、バスカロンの親父はそんな俺を迎え入れてくれた。ここは俺の第二の家だ。親父に仇なすヤツあ、誰だろうと許さねえぞ……！
バスカロンの親父の奴、どうも森の中にいた帝国兵のことを心配してるらしい。そこで相談なんだが……バスカロンドラゼーズの近くに、この辺を根城にしてる賊や密猟者が集まる場所がある。そいつらに、帝国兵に注意するよう伝えてきてくれ。そんじゃ、うまいこと頼んだぜ。

似我蜂団の伝令：……森の中に帝国兵がいた？ バスカロンの情報なら、信じねえわけにはいかねえな。
ひとまず兵隊の数増やして、警戒しといてやるよ。
そういえば、ここのご噂になってるめつぼう強い巴術士の冒険者ってのは、お前だろ？
ウチの若い奴が、お前と戦うのを楽しみにしてる。森でウチのに出くわしたときは、お手柔らかに頼むぜ。
……もちろん、お互いにな。

密猟団の狩人：バスカロンが帝国兵のことを心配してるって？ そうか……あの親父が心配するぐらいだ、警戒だけはしておいた方がよさそうだな。
……ところで、最近こころで噂になってるミコツテ族の冒険者ってなあお前だろ？
そのうち「アイサツ」に行くからよ、そんなときや頼まあ。



オフィリオ： よう、賊どもには会えたようだな。……ああいう奴らと顔をつなぐのはイヤだったか？
だけど、ここでああいう連中と顔を合わせとくのも悪かねえと思ったんだよ。
最近のお前は、良かれ悪しかれ目立ちはじめてる。お前の噂を聞いて、興味を持ってる連中も多かったし……
面倒くせえことになる前に、顔合わせだけでもしといた方がいいと思ったのさ。

森を乱す侵略者

オフィリオ： 頼ってばかりで悪いが、また手を貸してくれ。シルフ族の長を追っていた帝国兵が、まだ、この辺りをうろついているようだ。
連中を野放しにするわけにはいかん、探しだして倒してきてくれ。

オフィリオ： やはり、森に帝国兵が潜んでいたか。お前が奴らを倒してくれたおかげで、酒場の空気も元通りになりそうだ。
この付近で悪事など、働かせるものか……！ 「バスカロンドラザース」付近の静けさは、俺たちの手で守っていくんだ！

森に潜む罠

balan： 冒険者君、ひとつ仕事を頼まれてくれないか？ この界隈で、たびたび「密猟者」が目撃されているな。
奴らが仕掛けた罠を回収してほしいのだ。
罠を放置しておけば、幼い子供が狩られるだけではなく、無関係な民が巻きこまれ、大怪我を負いかねない。
密猟者も見つけ次第、とっちめてくれると助かる！

balan： 助かったぞ！ 最近、密猟者の動きが活発でな。「密猟王」なる男が現れてから、勢いついているのだ。
我々も、いっそう厳重に警備をせねば……。



密猟者を探せ

ウルフリック： くそっ、せっかく密猟者を捕らえたのに、逃げられちゃった！ 鬼哭隊のウルフリック様を欺くとは、ふてエ野郎だ！
お前は冒険者だな、急な依頼ですまないが、密猟者を捕まえるのを手伝ってくれ！
おそらく、まだ集落内に潜んでいるはずだ！

脱走した密猟者： はあ、はあ……み、見逃してくれ。アタイはたしかに密猟に手を染めた。だが、仕方なかったんだ……。
病気がちな弟に、どうしても薬が必要だったんだ。この土地で、高価な錬金薬を買う金を手に入れるには、
盗賊になるか、密猟に手を染めるしかない……。
……後生だから、見逃してくれないか？ ……ああ！ 密猟なんて二度としないと誓う！
裸一貫、もう一度やり直さ。あばよっ！



ウルフリック： ちっ、集落の外へ逃げちゃったか……。まったく、森を傷つけるとはなんたる鬼畜の所業！
精霊の意思に叛くとは、万死に値する！ 許すまじ！

それは初恋の味

ディードラ : クォーリーミルの北に小さな果樹園があるのを知ってる？ そこで採れる「シュラウドアップル」は、甘酸っぱくて、まさに初恋の味なのよ。うふふふ。
ちょうど今ごろの季節は、収穫作業に大忙し。果樹園の**フォークス**さんが人手を探していたから、行って手伝ってあげてくれないかしら。



フォークス : おんや？ お客様だんべか？ ほ〜うほうほう、仕事を手伝ってくれるってか。
んじゃ、お言葉に甘えっかなあ。
中には虫ヶ食われてんのもあつから、そのへん気イつけて採ってくれや。

フォークス : ほうほう、どんな按配だね？ よ〜け採れたかい？
こらまた、たいしたもんだ。助かったべ。あんた、オラのとこに嫁コさ来て、この果樹園に骨を埋める気はねえべか？

りんごでもいっしょに

フォークス : いんやあ、今年は豊作、豊作！ 森の恵みに感謝せねばいかんべえな。
あんた、ちょっくらひとつ走り行って、この「シュラウドアップル」を、森の守護者さんところに、お供えしてきてくんねえべか？

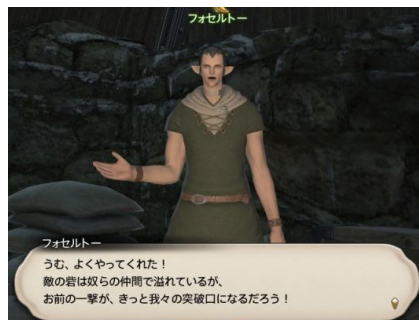
カステラン : ここはグリダニアのハムレット「クォーリーミル」。この近辺は、精霊との契約により狩猟が容認されている。
とは言え、好き勝手を許容しているわけではない。
これは……シュラウドアップル！ フォークス殿からですな、かたじけない。
こいつが大の好物なのです！ 思い出すなあ、初恋の味！



望郷の決意

フォセルトー：この近くにある「レッドベリー砦」は、もとはパウバリー村と言ってな。
フォレスター族とミッドランダー族が暮らす小村だったんだ。
だが、震災時に村民が避難していた隙に、ならず者集団「似我蜂団」に占領されてしまった。
我々鬼哭隊も奪還しようとしているが旗色が悪い。
奴らの斥候が優秀らしく、こちらの動きを読まれていてな。そこで自由に動ける冒険者、お前の出番だ。
「似我蜂団」の斥候たちを討伐してくれないだろうか。

フォセルトー：うむ、よくやってくれた！ 敵の砦は奴らの仲間で溢れているが、お前の一撃が、きっと我々の突破口になるだろう！



家宝の戦斧

カスベルト：俺の祖父さんは、パウバリー村の村長だったんだ。……結局、故郷に帰れないまま病死してしまったけど、
家宝の「パウバリーの戦斧」を最期まで心配していたよ。
その家宝も、価値も知らない「似我蜂団」の奴らに、新割り用の斧にされてしまっているらしいんだ。
頼む、奴らから取り返してくれないか？

カスベルト：どうだった？ 奴らから「パウバリーの戦斧」を取り戻してくれたか？
おお、こいつだ！ まさしく祖父さんの形見の斧だ！ ……祖父さん、見てくれよ！
俺、いつかあいつらを追い出してやるからな……！



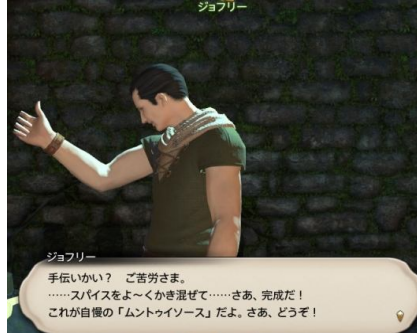
ムントウイは大好き？

エドック：困ったわ……衛士さんに振る舞う料理に必要な不可欠な「ムントウイソース」が切れちゃうなんて。
これがないと、みなさんのお腹を満たせないのに……。
ちょうどいいわ、その冒険者さん！ 急いで「ムントウイ醸造庫」へ行って、「ムントウイソース」を買ってきてくれませんか？

エリモン：何だい、クォーリーミルからお使いかい？ 「ムントウイソース」だろ、わかってるって。
あと少しでできあがるとごだから、待っておくれよ。

秘訣は隠し味

エリモン：……ソースはまだできあがらないのか、だって？ そんなに早く欲しいんだったら、最後の仕上げを手伝ってくれ。
奥の醸造釜でムントウイソースを仕上げているから、釜の中に、隠し味を入れてくれるかい。
必要な隠し味は3種類。そいつが味を引き締めるんだ。倉庫にあるから、釜まで運んで入れておくれ。
ソースができたら、クォーリーミルに届けてやりな。

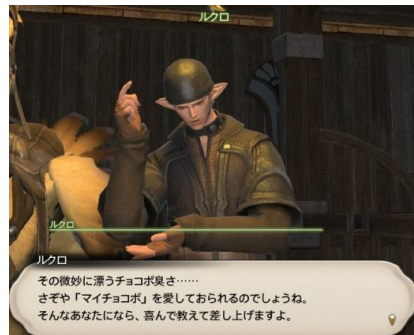


ジョフリー：手伝いかい？ ご苦労さま。……スパイスをよ〜くかき混ぜて……さあ、完成だ！
これが自慢の「ムントウイソース」だよ。さあ、どうぞ！

エドック：ああ、待っていましたよ！ 衛士さんたちがお腹をすかして暴動寸前なんです！
ムントウイ豆を使ったソースは、グリダニア料理の要です！ 独特のコクと味わいで、皆に大人気なんですよ！
香りは……まあ、好き好きですがね……。

頼れる相棒

ドセット：ちょっと、そのあなた！ 微妙に漂うそのチョコボ臭さ…… さては「マイチョコボ」の所有者ね？
旅から旅への冒険者生活なのでしょうけど、もう少し臭いにも気を配ったらどうかしら……。
それにチョコボの訓練も、まだまだの様子ね。中央森林の「バントブランチ牧場」にいる牧童、
「**ルクロ**」に教えを請うといいでしょう。



ルクロ：こんにちは、冒険者さん。……えっ？ 「マイチョコボ」の訓練方法を教えてくれ、ですって？
その微妙に漂うチョコボ臭さ…… さぞや「マイチョコボ」を愛しておられるのでしょうね。
そんなあなたになら、喜んで教えて差し上げますよ。
ちょっとしたチョコボへの接し方さえ覚えれば、「マイチョコボ」と一緒に戦うことができるのですから。
まずは、その畑からギサールの野菜を採ってきてください。

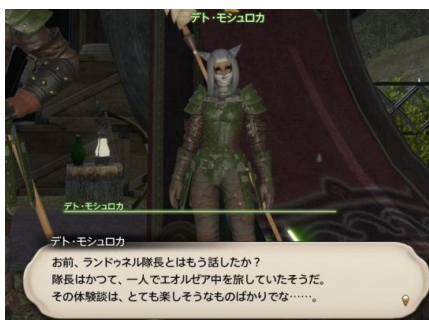
ルクロ：……冒険者さん、「新鮮なギサールの野菜」は採れましたか？
ありがとうございます。「ギサールの野菜」は、言わずと知れたチョコボの大好物。いわばチョコボたちの元気の源です。
この「ギサールの野菜」を使うことで、「マイチョコボ」を、あなたの相棒「バディ」として呼び出すことができます。
そして、いくつかのサインを使ってバディに指示を出し、共に戦うことができます。
これぞイシュガルド伝統の「フォルタン流チョコボ戦闘術」！
さあ、物は試し。私が教えたように「ギサールの野菜」を使って、バディを呼び出してごらん下さい。
そして……最初の訓練として「スカンボの安息所」にいる「ブルード・ジズ」を3体ほど倒すのです。
もちろん、あなたのバディと一緒にね。
ああ、それから、最後にひとつ。「ギサールの野菜」は、常に多めに持っておくといいでしょう。
牧場内のお屋敷さんでも、購入することができますから。

ルクロ：お帰りなさい。どうやら、無事に訓練を終えられたようですね。いかがでしたか、バディチョコボとの初めての戦いは？
すでに体験されたかと思いますが、バディのサポートは、とても心強いものです。
弱点を補わせるもよし、長所を伸ばすもよし。バディとなったチョコボには、無限の可能性があるのです。
あなたとバディだけの戦い方を見つけてくださいな。

異国の香り

デト・モシュロカ : お前、ランドゥネル隊長とはもう話したか？ 隊長はかつて、一人でエオルゼア中を旅していたそうだ。その体験談は、とても楽しそうなものばかりでな……。
私は生まれてから、黒衣森を離れたことがない。鬼哭隊として、森を守ることに誇りをもってはいる。だが、他都市への関心はあって、だな……。
南に、ウルダハ商人が品卸しに来ているらしいのだ。私は任務があって……あの、あとで何か礼はする！何かウルダハ様式の物を貰ってきてほしいんだ！

外つ国の交易商人 : いやあー、助かった助かった……。護衛が役に立たなくてね、危ないところだったよ。お礼にこの「砂都の香」を君にあげよう！

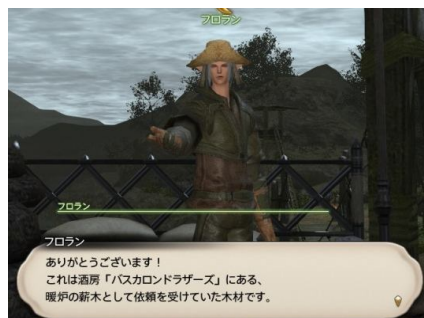


デト・モシュロカ : な、何か貰えたか……？ ウウ、ウルダハを感じられるものだといいな……。
おお、これは……ウルダハの香か！ うっ……な、なるほど……ツクシュン！
ウルダハの民は、強い匂いの物を好むのだな……。
しかし、隊長の言っていたとおりだ…… エオルゼアは広く、まだ私の知らぬことばかり！
ありがとう冒険者よ、これが約束の礼だ……ツクシュン！

根渡り沼の落とし物

フロラン : やっぱり、これだけでは足りない……。 ああ、冒険者さん！ ぜひお願いしたいことがあるのですが！
実は、そのこの橋を渡っている最中に、木材をいくつか、橋の下に落としてしまったのです。
橋の下の「根渡り沼」は魔物が多くて私ひとりで行けるようなところではありません。
代わりに拾ってきてはもらえないでしょうか？

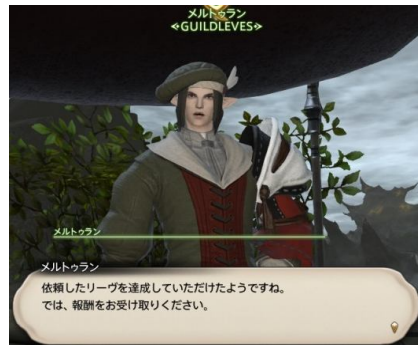
フロラン : ああ、冒険者さん！ お願いしたものは、拾えましたか？
ありがとうございます！ これは酒房「バスカロンドラーズ」にある、暖炉の薪木として依頼を受けていた木材です。
少し水を吸ってしまいましたが…… 乾燥させれば問題ありません。皆さんに木の温もりを届けられそうです！



ギルドリーヴ開放「キャンプ・トランキル」

メルトウラン : 仕事をお探ですか？ わたくしはメルトウラン。冒険者ギルドの一員です。
こちらでは、魔物討伐や物資調達といった「キャンプ・トランキル」周辺から寄せられた依頼を紹介させていただいております。
ただし……危険を伴う内容のものも多いので、本格的に仕事を依頼する前に、あなたの実力を確かめさせていただきたいのです。
わたくしがり扱っている依頼をひとつお見せいたします。まずは、こちらのリーヴをこなしていただけますか？
ありがとうございます。密猟された獣皮の回収中、密猟団が現れることがあります。
万全の準備をしてから、リーヴを開始してくださいね。

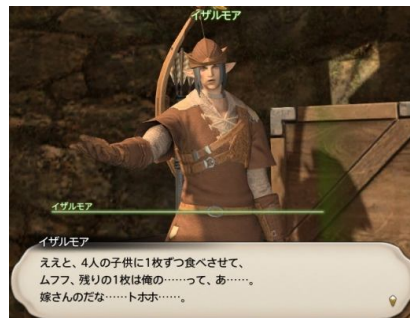
メルトウラン : 依頼したリーヴを達成していただけたようですね。では、報酬をお受け取りください。
あなたの働きぶり、素晴らしいものでした。これなら、安心して仕事をお任せできそうです。
その腕っ節、頼りにしておりますよ。



家族の晩ご飯

イザルモア : はあ……まいったな。毎日毎日、アンテロープの硬い肉ばかりじゃ、育ち盛りの4人の子供もが、かわいそうだ。
なあ冒険者さんよ、「ワイルドホッグ」から「ワイルドホッグの厚肉」を5つ採ってきてくれないか。
情けねえが、俺の腕じゃあ仕留められねえんだ。

イザルモア : どうだい、冒険者さん。「ワイルドホッグの厚肉」は採れたかい？
……おお、これだこれだ、ありがとうよ！ アンテロープのあっさりした肉質も悪くはないが、
脂のたっぷり乗ったホッグの肉は格別だ！
ええと、4人の子供に1枚ずつ食べさせて、ムフフ、残りの1枚は俺の……って、あ……。
嫁さんのだな……トホホ……。

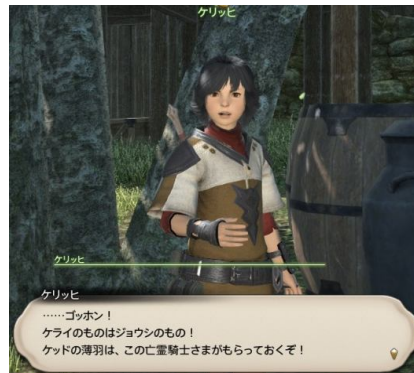


恐怖の亡霊騎士

ケリッヒ : ふはははは、わたしは亡霊騎士さまであるぞ！ わたしの魔法にかかれば、貴様などひとひねりなのだー！
こわかったら「ひざまずいて」許しをこうのだー！

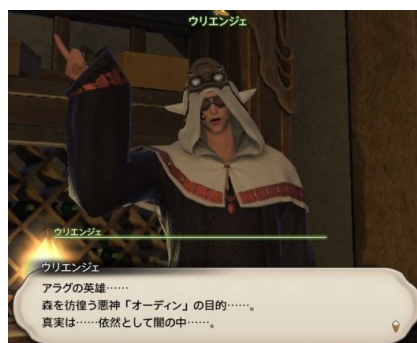
ケリッヒ : どうだー！ わたしは亡霊騎士さまであるぞ！ わたしに「ひざまずいて」許しをこう気になったかー！
うむ、くるしゅうないぞ！ よーし、貴様は今からわたしのケライだ！
ケライはジョウシのために仕事をするものだー！ ジョウシを喜ばせたらキュウリョウがあがるぞ！
さあ、荷運びチョコボみたいに働けー！
いいか、ケライ！ 「ケッド」を3匹倒して、「ケッドの薄羽」をもいでくるのだー！

ケリッヒ : おい、ケライ！ 亡霊騎士さまは待ちくたびれたぞ！ 「ケッドの薄羽」はまだかー！
やったー！ ぼくの「百蟲図鑑」にかざろっとー！ ……あつ。
……ゴッホン！ ケライのものはジョウシのもの！ ケッドの薄羽は、この亡霊騎士さまがもらっておくぞ！
……ジョウシってすげー。万年ケライのとーちゃんも、早くジョウシになればいいのに。



聖典の真実

スイミ : 悪神「オーディン」調査へのご協力、ありがとうございました。
現時点で判明しているすべての被害、および独自調査による推論を、この「オーディン調査報告書」にまとめました。
オ・アバ・ベシ様とリュウイン様には、私から提出しておきましょう。
それから、こちらの1冊をお持ちください。「暁の血盟」のウリエンジェ様をお願いされていたものです。
もし、悪神「オーディン」が森の民を襲うようなことがあったら…… そのときはどうか、我々の力となってください……。



ウリエンジェ : ◇◇◇さん……。黒衣森の蛮神を覆う不知の闇、払うことはできましたか？
……悪神「オーディン」。聖典に描かれた古の「闇神」ですか……。
察しますところ……。この聖典は、アラグ帝国の歴史を汲んでいるようです。
歴史とは光にして、光の陰に闇が宿ることは、いまさら言葉を重ねることでもないでしょう……。
聖典はあくまで、アラグの理を示しているにすぎぬはずです。
アラグの英雄…… 森を彷徨う悪神「オーディン」の目的……。真実は……依然として闇の中……。
いずれ、あなたという光が真実を照らすまで……。私は新たな歴史の扉が叩かれる、その音を聞いていましょう……。